

東レグループの経営戦略とCSRの連動

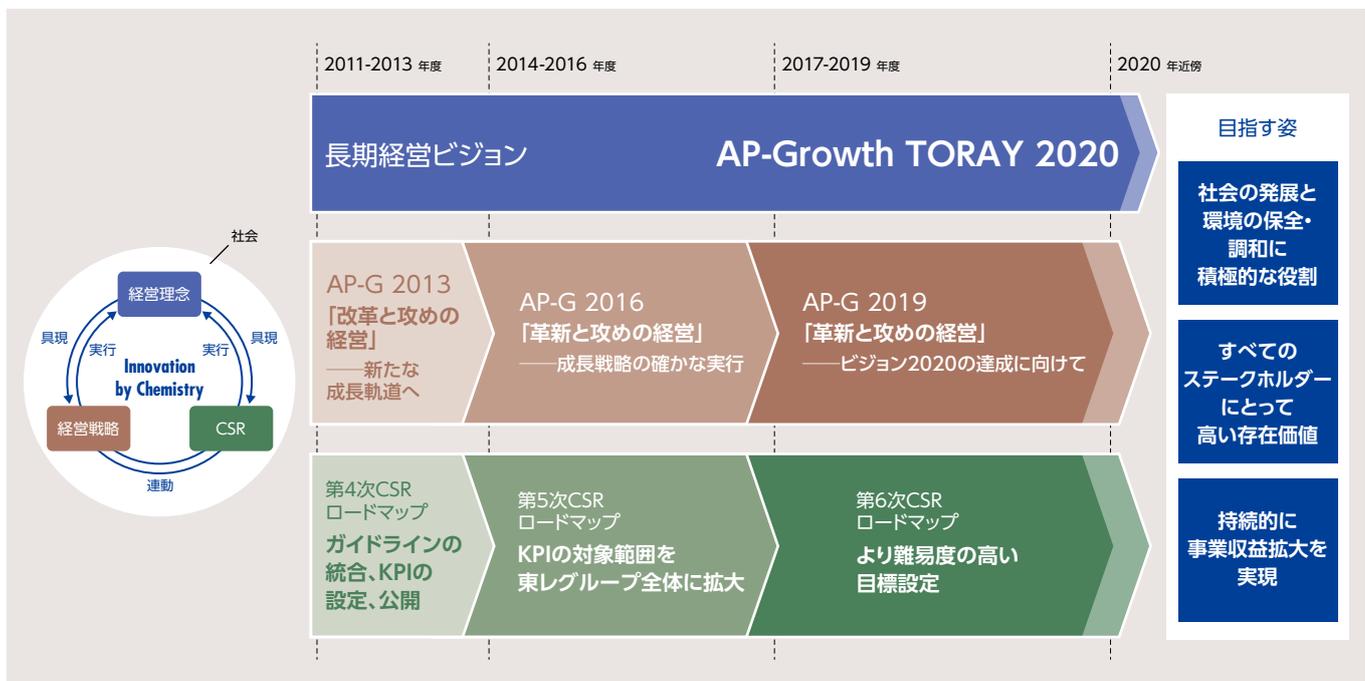
企業の持続的成長のためには、ステークホルダーから広く信頼される事業展開を継続することが重要です。東レグループでは、経営戦略とCSRは車の両輪と考えており、それらを一体的に実施することによって、経営理念の実現を目指しています。

東レグループでは、2011年4月から開始した長期経営ビジョン“AP-Growth TORAY 2020”をもとに、持続的に収益を拡大する企業グループを目指して経営活動を進めています。2017年4月からは、中期経営課題“プロジェクトAP-G 2019”をスタートし、長期経営ビジョンの達成に向けて、革新と攻めの経営を進めています。“プロジェクト AP-G 2019”では、事業展開に関する3つの基本戦略と5つの重点施策を定めるとともに「安全・防災・環境保全」「企業倫理・法令遵守」などCSRの推進の重要性も明示しており、期間を同じくする

第6次ロードマップを策定し、企業理念に基づく「新たな価値の創造」と「環境(E)」「社会(S)」「ガバナンス(G)」に関する活動の充実に取り組んでいます。

2018年7月には、2050年に向け東レグループが目指す世界や2030年度に向けた数値目標などを掲げた“東レグループ サステナビリティ・ビジョン”(P.7参照)を策定したところであり、経営戦略やCSRロードマップと“サステナビリティ・ビジョン”を連動させ、活動を推進しています。

経営戦略とCSRの連動



AP-G 2019の要旨

3つの基本戦略

1. 成長分野での事業拡大
2. グローバルな事業の拡大・高度化
3. 競争力強化

基本戦略の要点

1. 新たな需要を創出、事業拡大はグループ横断プロジェクト体制で総合的かつ強力に推進する。
2. 成長国・地域での収益機会を取り込む。
3. トータルコストダウンおよび事業体質強化と営業力強化を推進する。

5つの重点施策

1. 新事業創出
2. 研究・技術開発、知的財産
3. 設備投資
4. M&A・アライアンス
5. 人材確保・育成

重点施策の要点

1. 次の成長ステージを担う収益源を生み出す。
2. 新技術・新素材を創出する。
3. 合計5,000億円の設備投資を実行する。
4. 既存事業の成長を増幅・補完する。
5. 次世代の経営を担う後継候補者の育成や基幹人材の確保・育成を推進する。